

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

福島県大熊町

人口	9,955人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	9,910人(R6.1.1現在)	実質赤字率	-	%
面積	78.71km <sup>2</sup>	実質公債負担比率	-1.4	%
歳入総額	51,401,508千円	実質負担比率	-	%
歳出総額	37,447,224千円	(市町村類型)	R01 I-0 R02 I-0 R03 I-2	
実収支	938,332千円	(年度毎)	R04 I-2 R05 I-2	
標準財政規模	6,601,326千円			
地方債現在高	0千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析**  
 住民一人当たりのコストは3,761,649円となり、前年度と比較して1,350,803円増となった。  
 要因としては、総務費で基金取崩事業のための積立金などが増加したことにより361,838円の増、土木費で再生賃貸住宅整備促進事業、復興拠点整備事業などの増加により前年度比306,716円の増、商工費で産業交流施設整備事業などの増加により303,551円の増、教育費で教育施設整備事業などの増加により233,039円の増により、住民一人当たりのコストが上がっている。